

2022年3月期 決算説明会資料

2022年5月26日

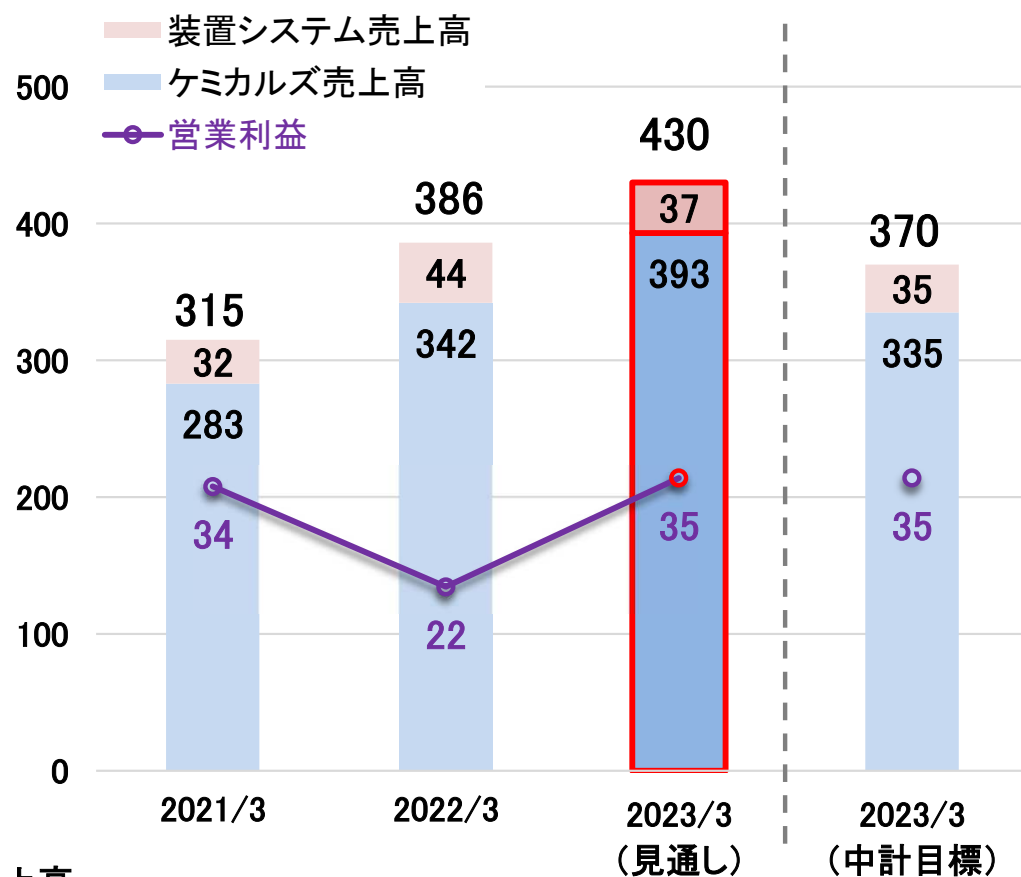
綜研化学株式会社

1. 中期経営計画（New Value 2022）進捗状況
2. 2022年3月期 連結決算
3. 2023年3月期 業績見通し

事業環境

- ・ 液晶ディスプレイ関連の需要堅調維持、自動車・建材分野などの回復基調継続
- ・ 原材料価格が中期経営計画の前提を大幅に上回る水準が継続
- ・ 中国での主要都市ロックダウン、地政学リスクの顕在化などの影響懸念

業績見通し



売上高
(億円)

- (売上高)
- ・ 中国市場を中心とした液晶ディスプレイ関連、自動車分野での販売拡大
 - ・ 原料価格上昇に応じた価格転嫁

- (利益)
- ・ 価格転嫁やコスト削減による収益性改善

	2023/3 (見通し)	2023/3 (中計目標)
営業利益率	8.1%	9.5%
ROE	8.5%	9%以上
設備投資額 (3年間)	約93億円	70億円

営業利益
(億円)

◇収益基盤の拡大・強化

- ✓ 中国市場での市場シェア拡大
 - ⇒ さらなる販売拡大と競争優位性の確保
 - ・ 液晶ディスプレイ関連、自動車分野での販売拡大
 - ・ 中国南京工場の粘着剤増強設備の立上げ※
 - ※生産能力:2023年3月期稼働予定【2基】(現状の約2.5倍)
 - 2024年3月期稼働予定【1基】(現状の約3.0倍)

- ✓ 急激な原材料価格の上昇、需給逼迫への対応力向上
 - ⇒ 環境変化に強い事業構造への変革に向けた施策推進
 - ・ 新たな生産プロセスの開発の推進
 - ・ 安定調達・供給体制の強化

◇新たな成長基盤の構築

① 次世代の柱となる事業領域の創出

⇒ 成長分野での市場調査・製品開発体制の強化

- ・ 自動車加飾フィルム用粘着剤の販売体制強化
- ・ 成長分野に向けた新たな製品・素材開発
- ・ サステナブルな社会実現に貢献する素材開発

② 継続的な新規事業の創出体制の構築

⇒ 研究機関・スタートアップ企業との連携強化

- ・ 医療・ヘルスケア、環境・エネルギー分野での取り組み加速

③ 持続的な成長を支える経営基盤の強化

⇒ グループ全体のコーポレート・ガバナンス体制の強化

- ・ グローバル人材育成・活用施策の推進
- ・ コンプライアンス・リスク管理体制の高度化

1. 中期経営計画（New Value 2022）進捗状況
- 2. 2022年3月期 連結決算**
3. 2023年3月期 業績見通し

2022年3月期 業績

- ✓ 中国液晶ディスプレイ関連分野を中心にケミカルズの販売伸長
- ✓ 大型工事案件の完成による装置システムの売上増加
- ✓ 原材料の逼迫及び高騰による収益性の悪化

(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比	
			増減	%
売上高	31,493	38,638	7,144	22.7
営業利益	3,397	2,229	▲1,168	▲34.4
営業利益率(%)	10.8	5.8	▲5.0	—
経常利益	3,576	2,744	▲831	▲23.3
当期純利益	2,724	2,040	▲684	▲25.1
1株当たり純利益(円)	331.12	247.48	▲83.6	▲25.3

* 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しております。

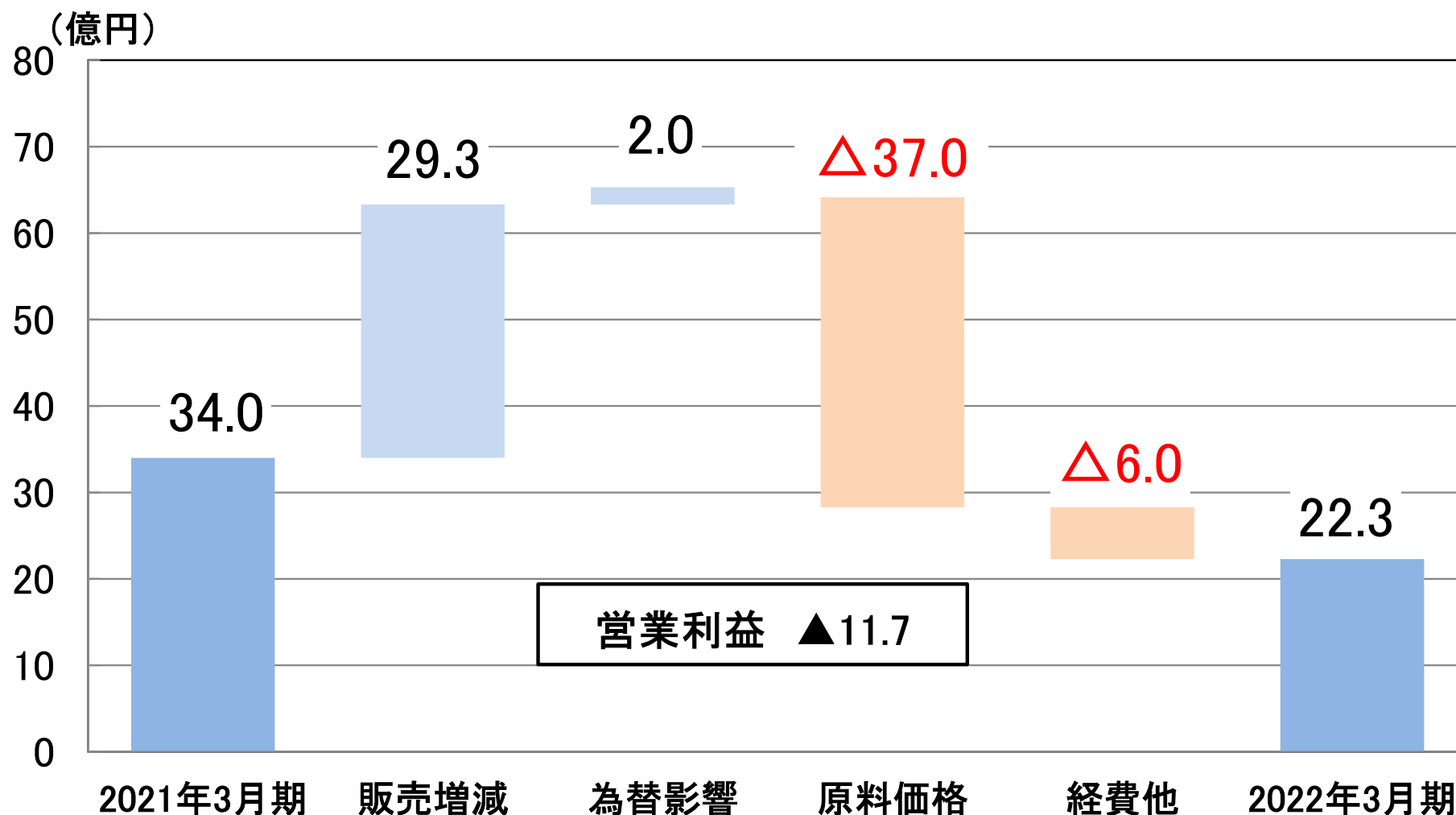
2022年3月期 セグメント別売上高

(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比	
			増減	%
ケミカルズ	28,295	34,215	5,920	20.9
粘着剤	17,477	21,835	4,357	24.9
微粉体	2,825	3,021	196	6.9
特殊機能材	3,036	3,521	484	16.0
加工製品	4,955	5,837	881	17.8
装置システム	3,198	4,422	1,223	38.3
合計	31,493	38,638	7,144	22.7

2022年3月期 営業利益分析

- ✓ ケミカルズの販売増や価格改定・コスト削減効果、装置システムの増益
- ✓ 原油価格の高騰や需給逼迫に伴い原材料価格が急激に上昇
- ✓ 販売増、事業活動正常化に伴う物流、活動経費等の増加



貸借対照表の状況

(百万円)

	2021年 3月末	2022年 3月末	増減		2021年 3月末	2022年 3月末	増減
流動資産	24,600	27,873	3,273	負債	14,812	17,234	2,421
現預金等	9,600	11,203	1,603	支払手形・買掛金	6,189	8,886	2,697
受取手形・売掛金	10,747	10,425	▲322	借入金	2,063	3,622	1,559
棚卸資産	4,029	5,656	1,626	退職給付に係る負債	1,793	1,802	8
その他	223	588	365	その他	4,765	2,921	▲1,843
固定資産	15,802	17,708	1,905	純資産	25,591	28,348	2,757
有形固定資産	13,952	16,135	2,182	株主資本	24,949	26,403	1,454
無形固定資産	386	328	▲57	その他の包括利益累計額	641	1,944	1,302
その他	1,463	1,244	▲219				
資産合計	40,403	45,582	5,178	負債・純資産 合計	40,403	45,582	5,178

キャッシュ・フローの状況

(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2022年3月期の 主な内容	
営業活動による キャッシュフロー	5,326	3,973	税引前純利益 減価償却費 運転資金増等	2,773 1,903 ▲704
投資活動による キャッシュフロー	▲1,768	▲3,442	有形固定資産取得	▲3,683
財務活動による キャッシュフロー	▲693	783	借入金増減 配当金支払	1,410 ▲617
現金及び現金同等物 の増減額	2,855	1,603		
現金及び現金同等物 の期末残高	9,600	11,203		

1. 中期経営計画（New Value 2022）進捗状況
2. 2022年3月期 連結決算
3. 2023年3月期 業績見通し

2023年3月期 業績見通し

- ✓ 液晶ディスプレイ関連分野の需要堅調維持、自動車・建材分野等の需要回復継続
- ✓ 原油価格高騰に伴う原材料価格の更なる上昇
- ✓ 中国のコロナ対策、ウクライナ情勢悪化などによる景気減速懸念

(百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (見通し)	前期比	
			増減	%
売上高	38,638	43,000	4,362	11.3
営業利益	2,229	3,500	1,270	57.0
営業利益率(%)	5.8	8.1	2.3	—
経常利益	2,744	3,500	755	27.5
当期純利益	2,040	2,500	459	22.5
1株当たり純利益(円)	247.48	303.18	55.7	22.5

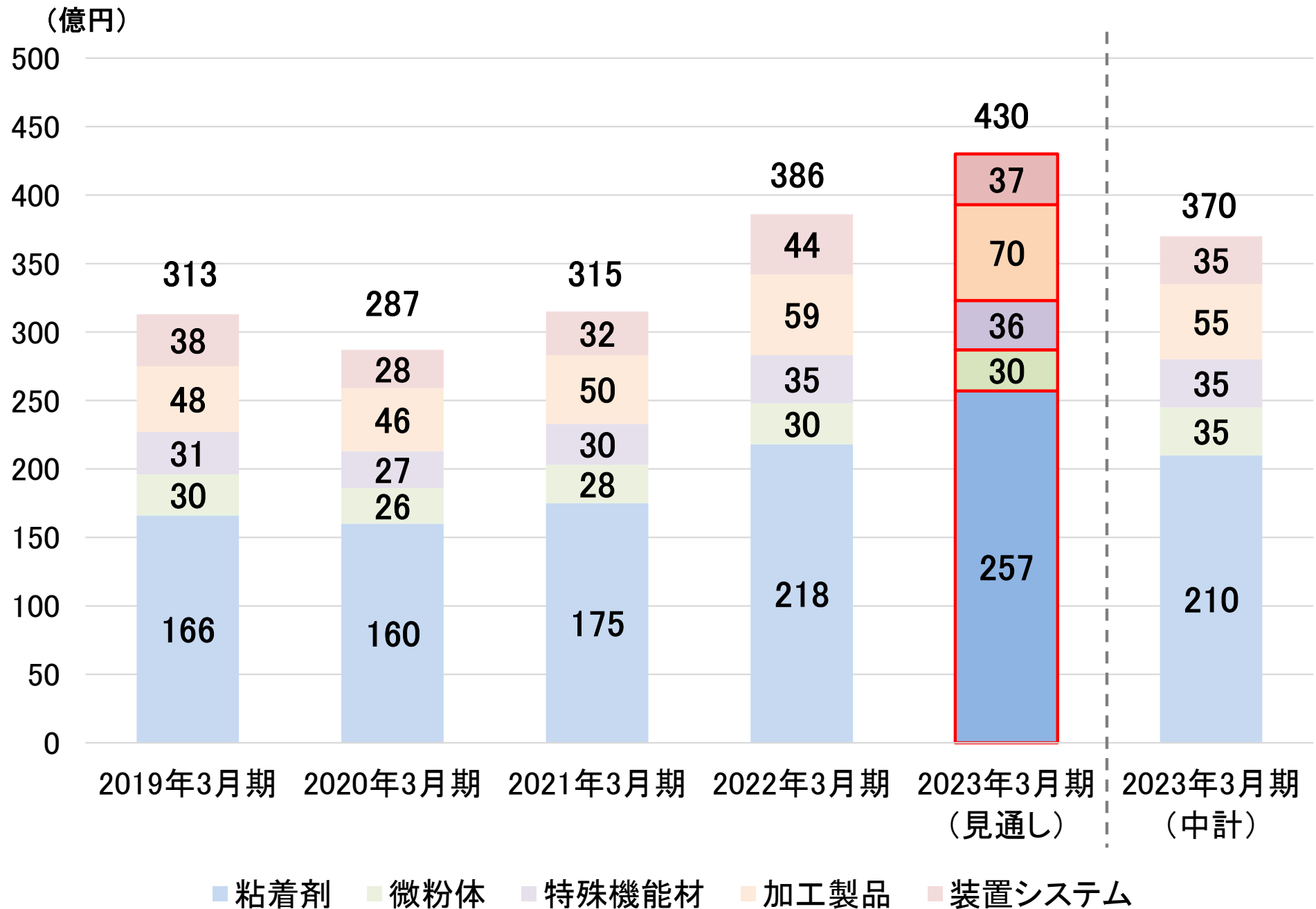
* 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しております。

2023年3月期 セグメント別売上高

(百万円)

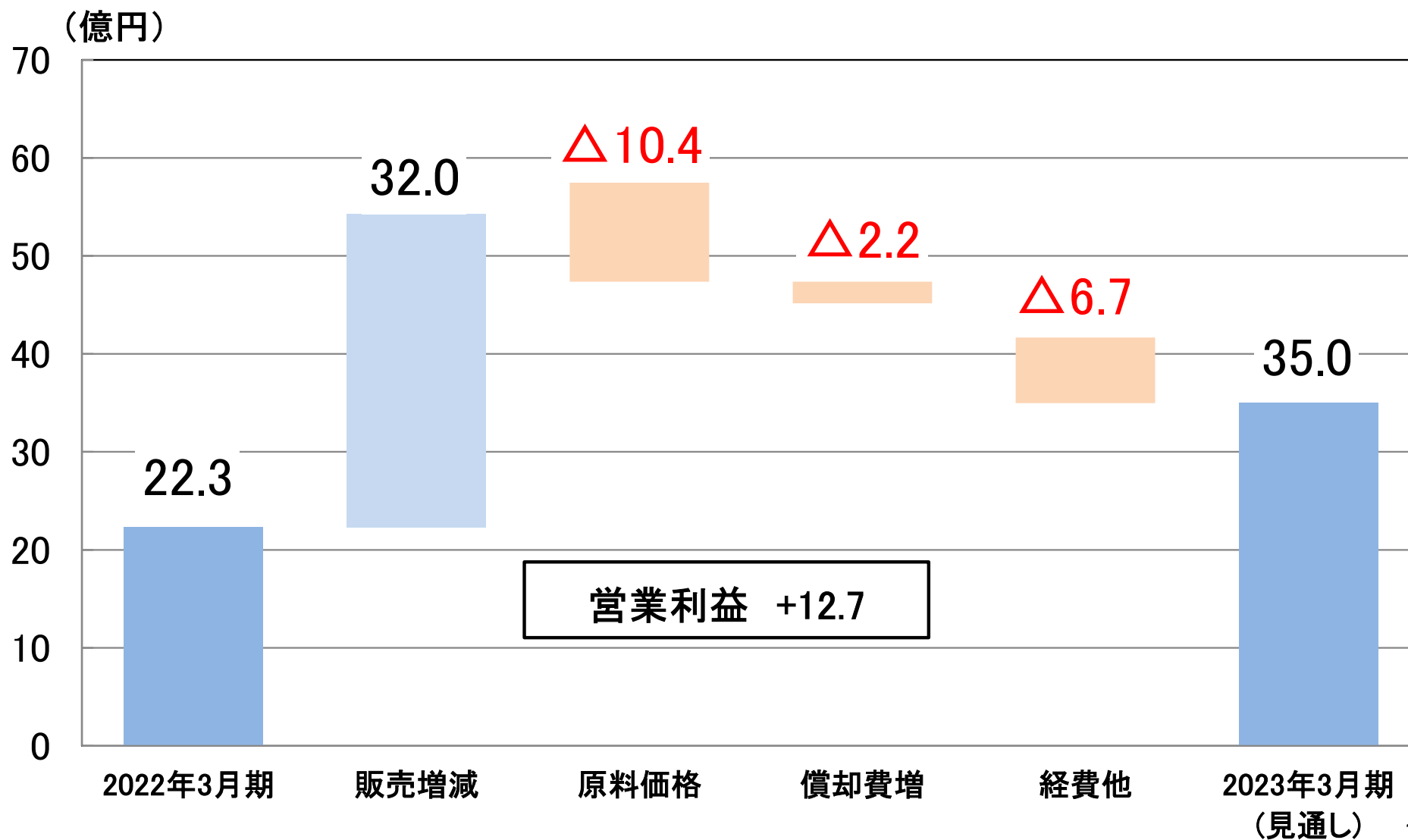
	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (見通し)	前期比	
			増減	%
ケミカルズ	34,215	39,300	5,084	14.9
粘着剤	21,835	25,700	3,864	17.7
微粉体	3,021	3,000	▲21	▲0.7
特殊機能材	3,521	3,600	78	2.2
加工製品	5,837	7,000	1,162	19.9
装置システム	4,422	3,700	▲722	▲16.3
合計	38,638	43,000	4,361	11.3

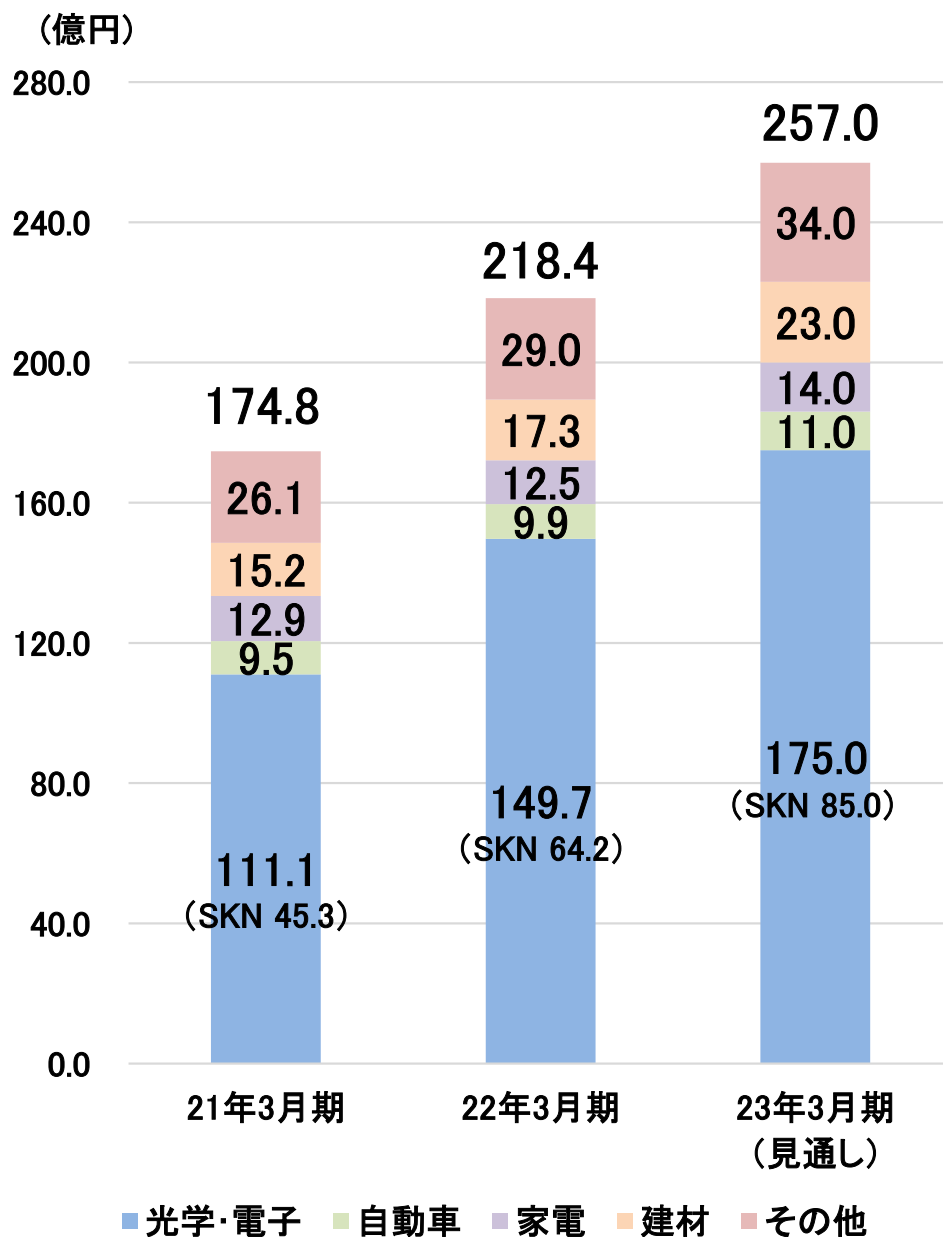
商品ユニット別売上高推移



2023年3月期 営業利益分析

- ✓ 粘着剤・加工製品の販売増や原材料高に応じた採算是正効果
- ✓ 原油価格高騰に伴う原材料価格の更なる上昇
- ✓ 生産設備増強等に伴う減価償却費の増加、販売経費や安全・環境対策費の増加





※ SKN: 中国子会社 綜研高新材料(南京)

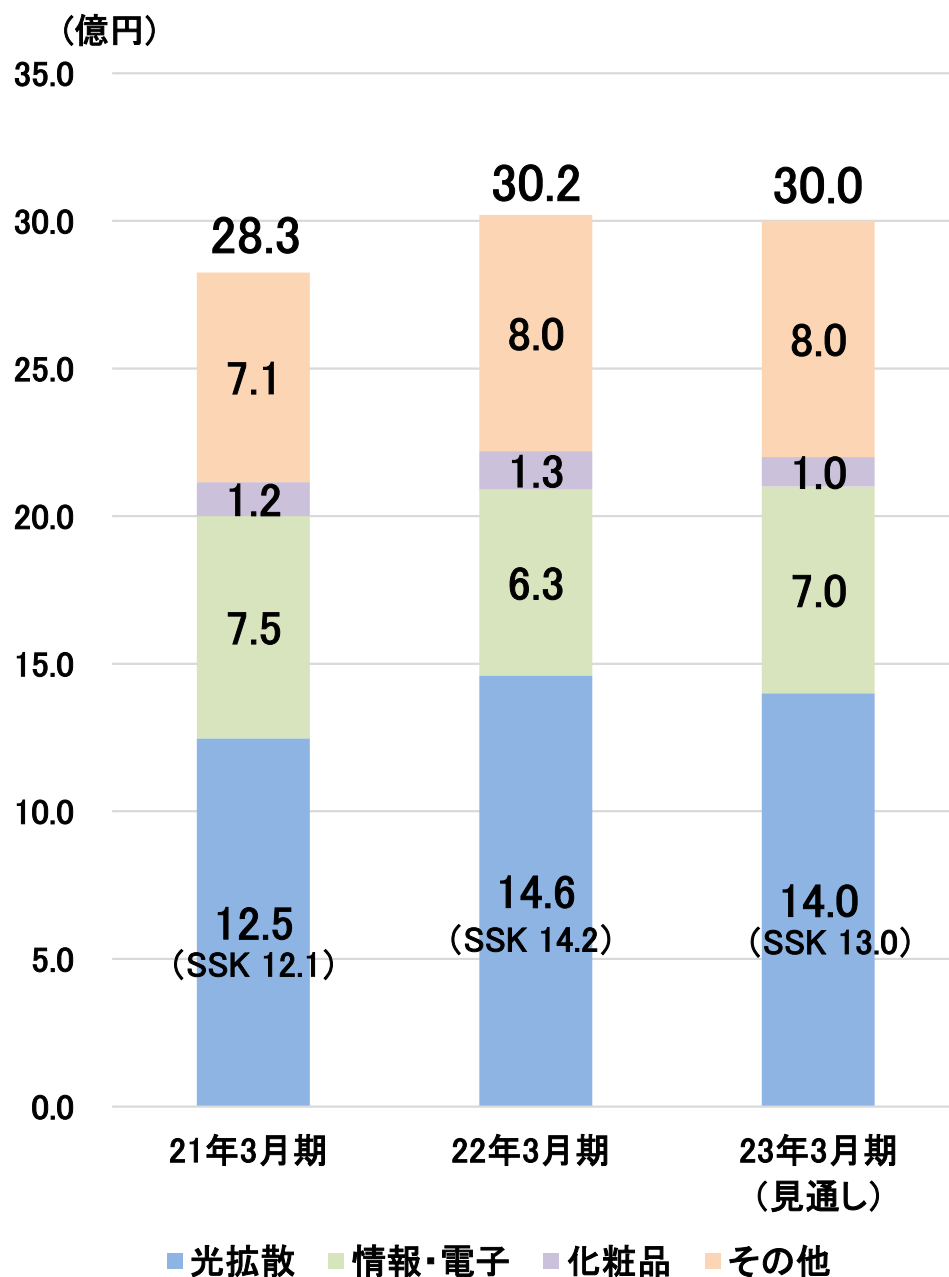
	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
光学・電子	149.7	175.0	25.3
自動車・建材他	68.7	82.0	13.3
合計	218.4	257.0	38.6

2022年3月期の概況

- 中国市場を中心に液晶ディスプレイ偏光板、周辺用途の販売が大幅に増加
- 原材料価格急騰に価格転嫁を進めるもタイムラグで採算性悪化

2023年3月期の取り組み

- 価格転嫁等による適正利益の確保
- 中国南京工場での設備増強投資の推進
- 建材分野での注力顧客シェアの拡大
- 自動車分野での加飾フィルム用途など環境配慮型製品での海外市場・顧客開拓



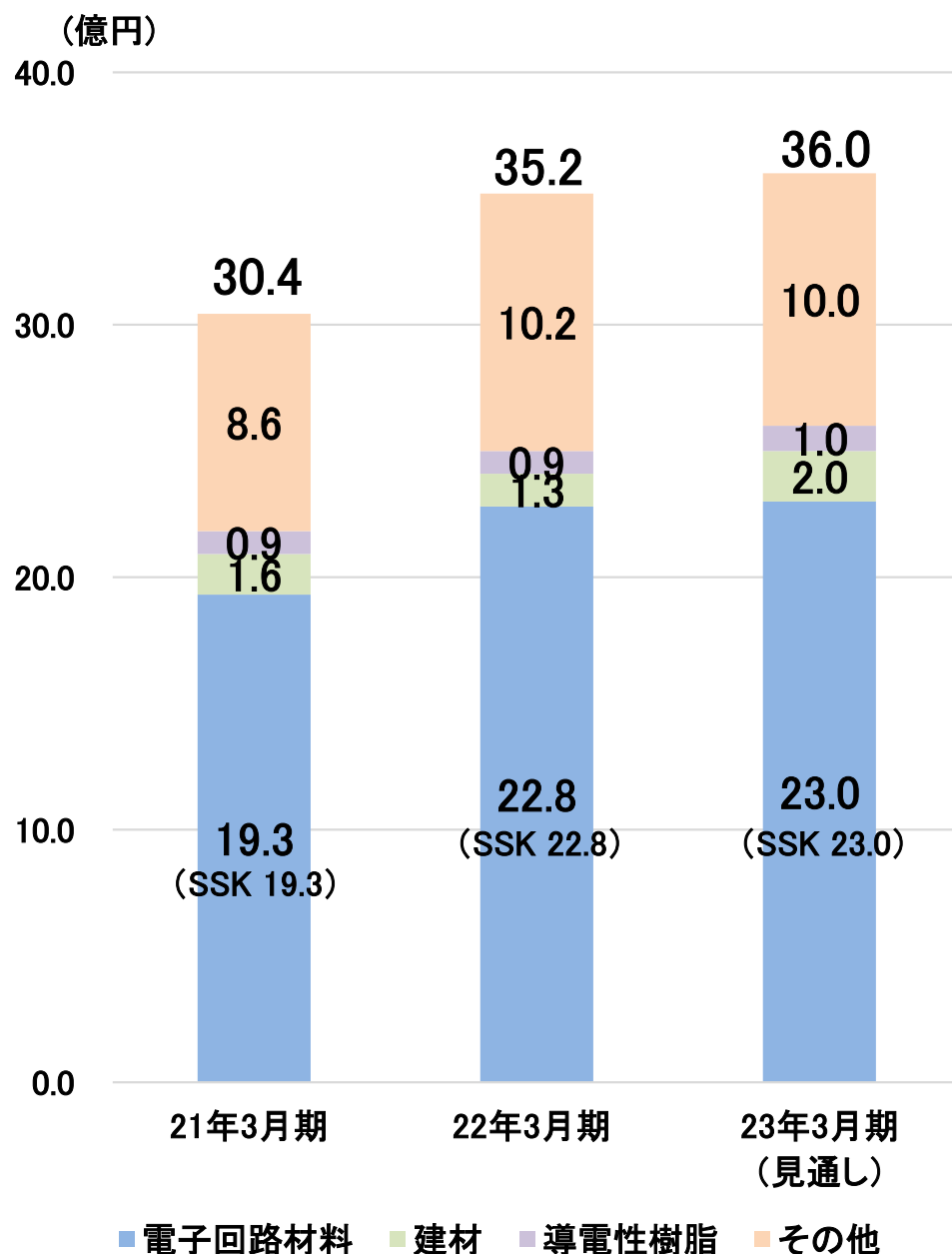
	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
光拡散	14.6	14.0	▲0.6
情報・電子他	15.6	16.0	0.4
合計	30.2	30.0	▲0.2

2022年3月期の概況

- 中国光拡散用途の販売数量は、4Q在庫調整により前期と同水準
- 情報・電子分野での一部顧客のシェア減

2023年3月期の取り組み

- 収益性改善に向けたグループ生産・供給体制の最適化
- 情報・電子部品分野における海外MLCC関連の顧客開拓に注力
- SSK研究開発センターによる中国の市場調査・製品開発機能、顧客対応力の強化



※ SSK: 中国子会社 綜研化学(蘇州)

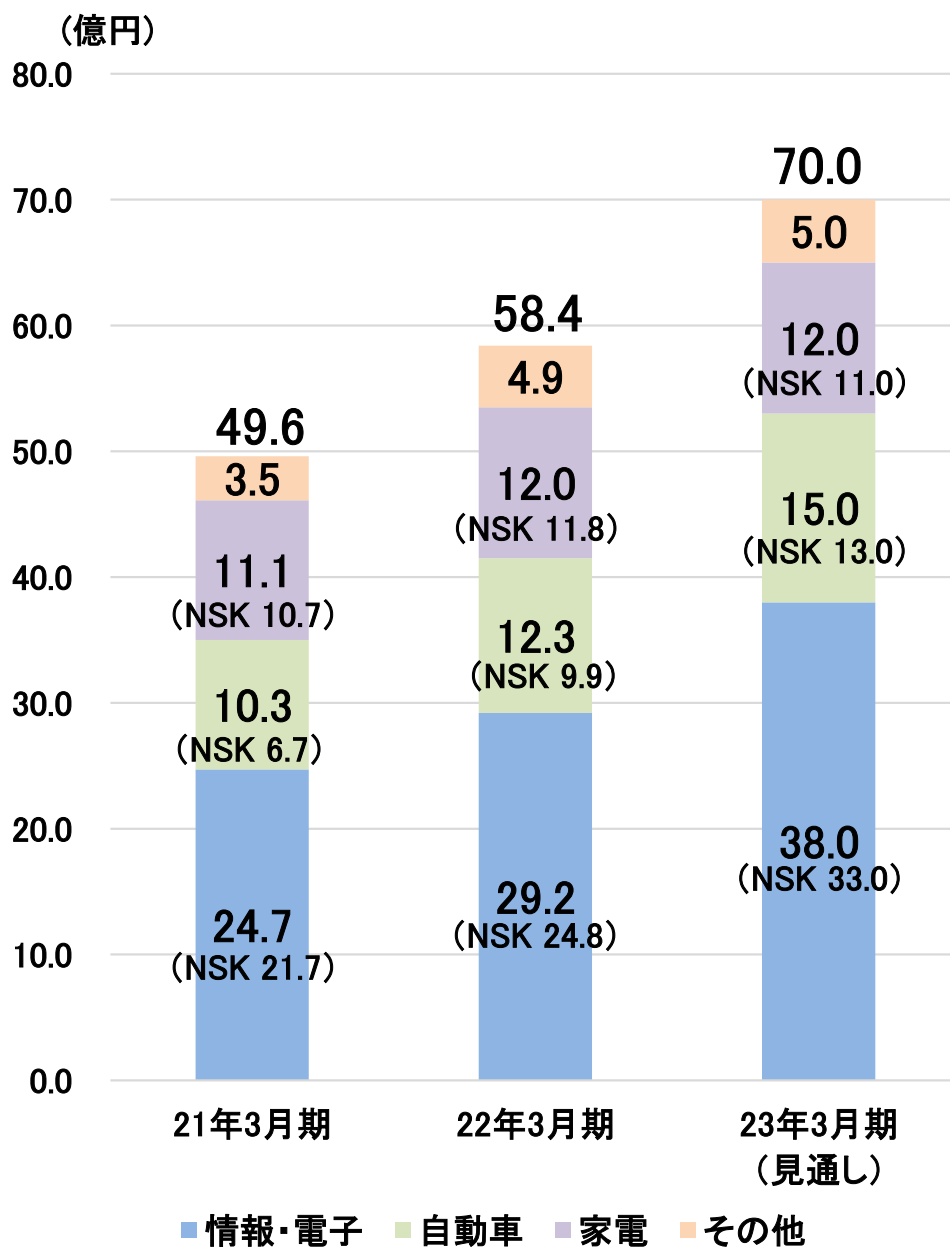
	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
電子回路材料	22.8	23.0	0.2
建材他	12.4	13.0	0.6
合計	35.2	36.0	0.8

2022年3月期の概況

- 中国電子回路材料用途が堅調に推移
- 建材分野での一部顧客のシェア減

2023年3月期の取り組み

- 中国電子回路材料用途の販売維持・拡大
- 建材用途での新規案件による巻き返し
- 微粉体事業と連携し、中国電子部品関連分野での導電性樹脂や焼成樹脂の新製品による顧客開拓に注力



※ NSK: 中国子会社 寧波綜研化学

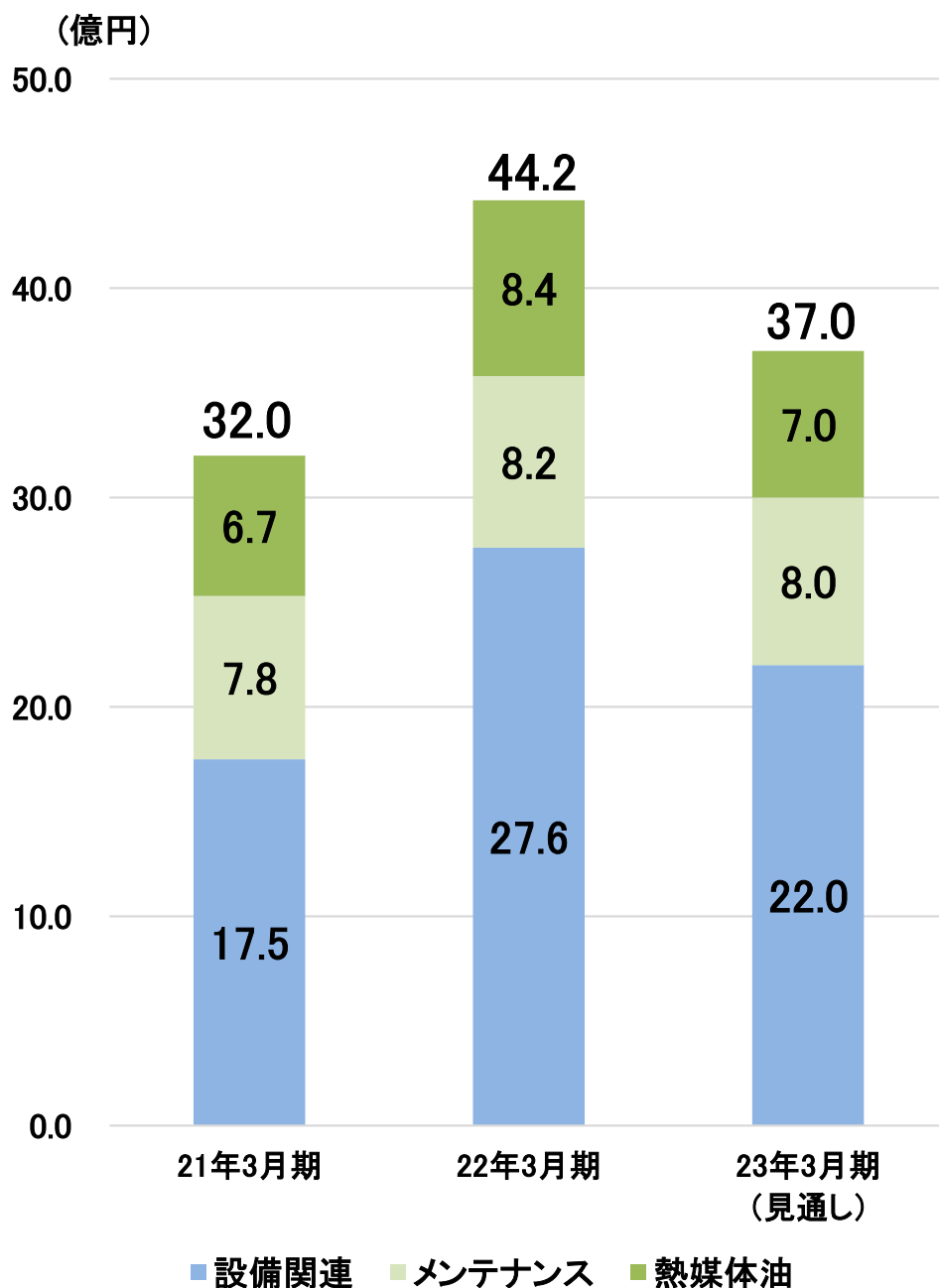
	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
情報・電子	29.2	38.0	8.8
自動車他	29.2	32.0	2.8
合計	58.4	70.0	11.6

2022年3月期の概況

- 情報・電子分野はスマートフォン関連のシェア減も、電子表示用途での新規案件により販売増
- 注力分野の自動車関連は、空調・内装用途などで環境配慮型製品の販売が増加

2023年3月期の取り組み

- スマートフォン関連の新規案件の立上げによる販売増
- 電子表示用途の販売拡大と関連分野での高性能製品による顧客開拓推進
- 中国自動車関連の顧客・用途開拓に注力



※ 今期からボイラーは設備関連に含めています。

	22年3月期 (実績)	23年3月期 (見通し)	増減
設備関連	27.6	22.0	▲5.6
メンテナンス・ 熱媒体油	16.6	15.0	▲1.6
合計	44.2	37.0	▲7.2

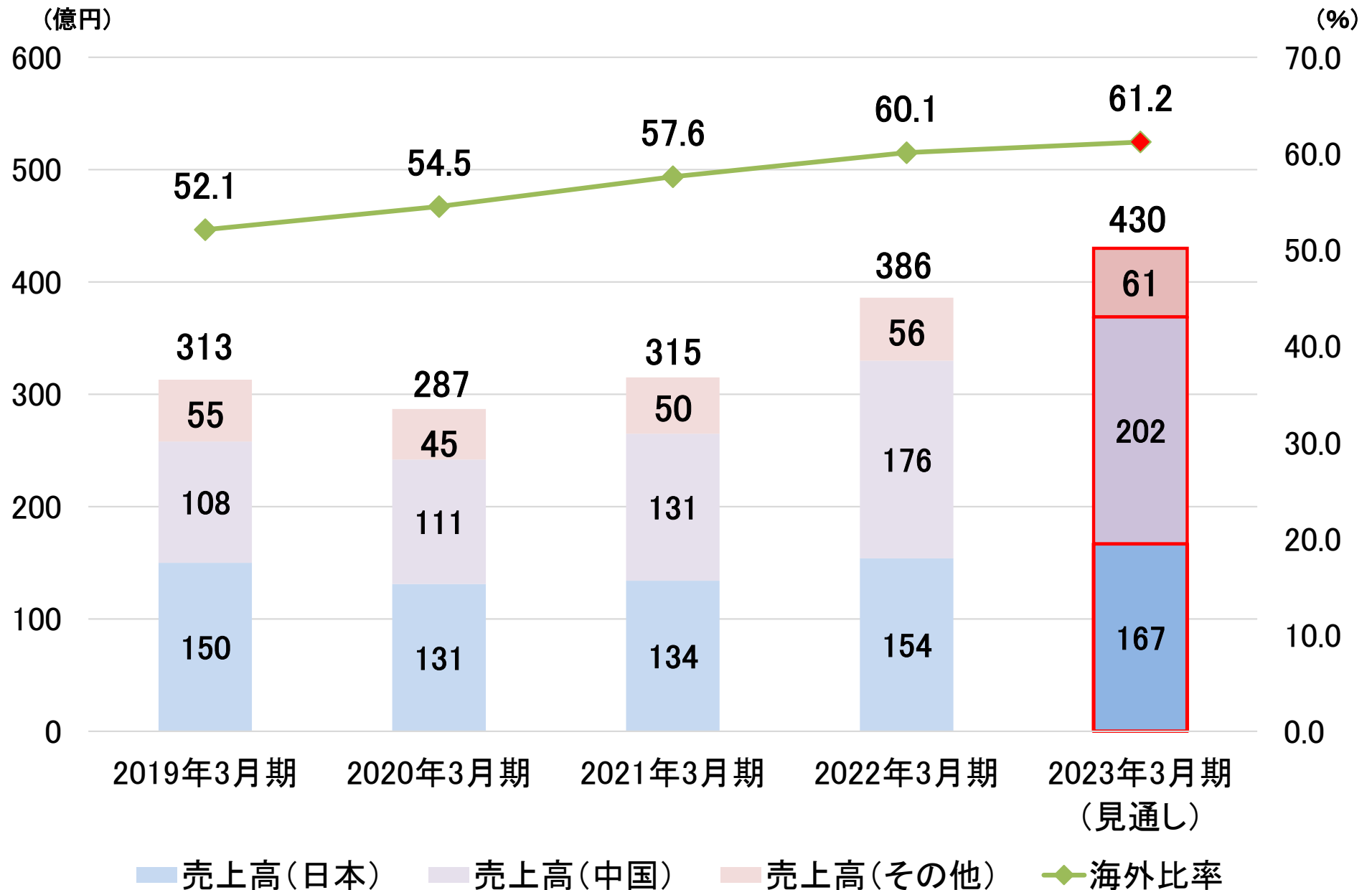
2022年3月期の概況

- 設備関連の大型工事案件により増収
- 熱媒体油の海外向け販売が増加

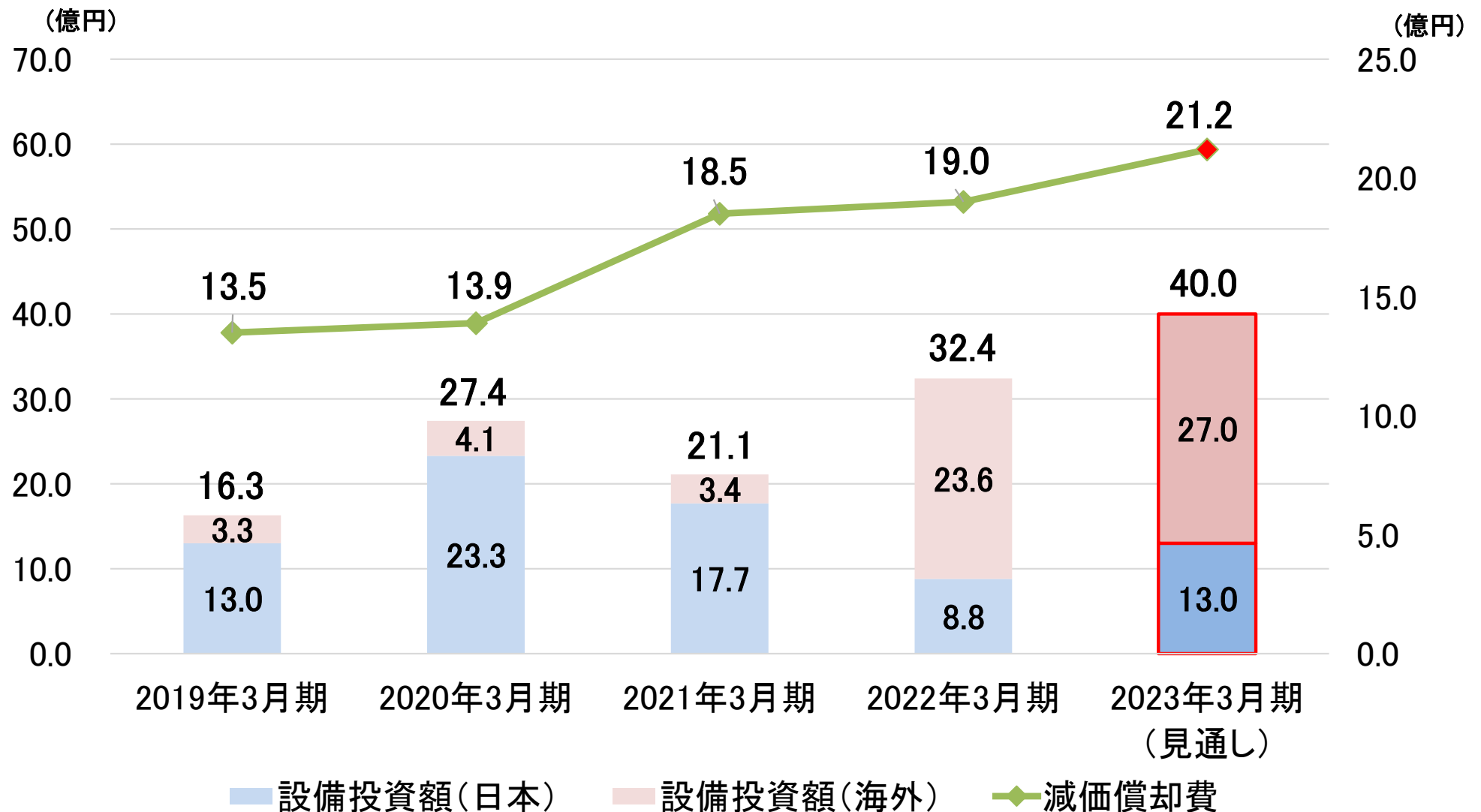
2023年3月期の取り組み

- 3Dシステムや構造解析ソフト等を活用したサービス拡充による新規顧客開拓推進
- 設備・ボイラー・電計診断の技術力向上による設備保全案件等の受注競争力強化

海外売上高推移



設備投資・減価償却費



主な設備投資(2023年3月期)

生産設備増強14.3億円、老朽化設備更新8.2億円、安全・環境・品質対応 6.0億円

参考資料

会社概要、事業内容

社名	綜研化学株式会社 (Soken Chemical & Engineering Co.,Ltd.)
創立	1948年9月2日
代表者	代表取締役社長 福田 純一郎
本社所在地	東京都豊島区高田3丁目29番5号
資本金	33億61百万円
証券コード	東京証券取引所スタンダード市場:4972
事業内容	ケミカルズ : アクリル系粘着剤、機能性高分子、 有機微粒子、粘着テープ 装置システム : 熱媒体・熱媒ボイラー、 プラントエンジニアリング、メンテナンス
関係会社	連結子会社5社(国内1社、海外4社)
従業員数	連結 1,119名 / 単体 407名(2022年3月末時点)

経営理念

- 一、 私たちは常に誠実であるとともに
創造と工夫に情熱と責任を持って
挑戦しつづけます
- 一、 地球環境の保全を指向しつつ
社会に役立つ革新的製品を
提供します
- 一、 お客様には心からの満足を
株主の方々には共感を
そして私たちは働く喜びを
実現していくことに
最善を尽くします

コア技術

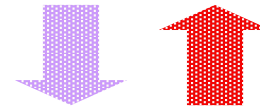
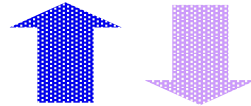
高分子合成技術

- ・ 分子設計
- ・ 粒子サイズコントロール
- ・ 無溶剤重合

&

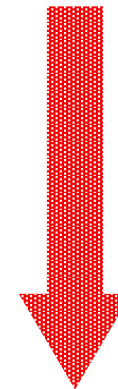
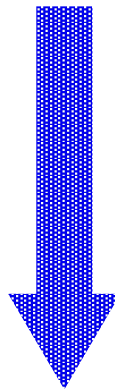
重合装置技術

- ・ プラント設計
- ・ 大型翼攪拌装置
- ・ 熱媒体・熱媒ボイラー



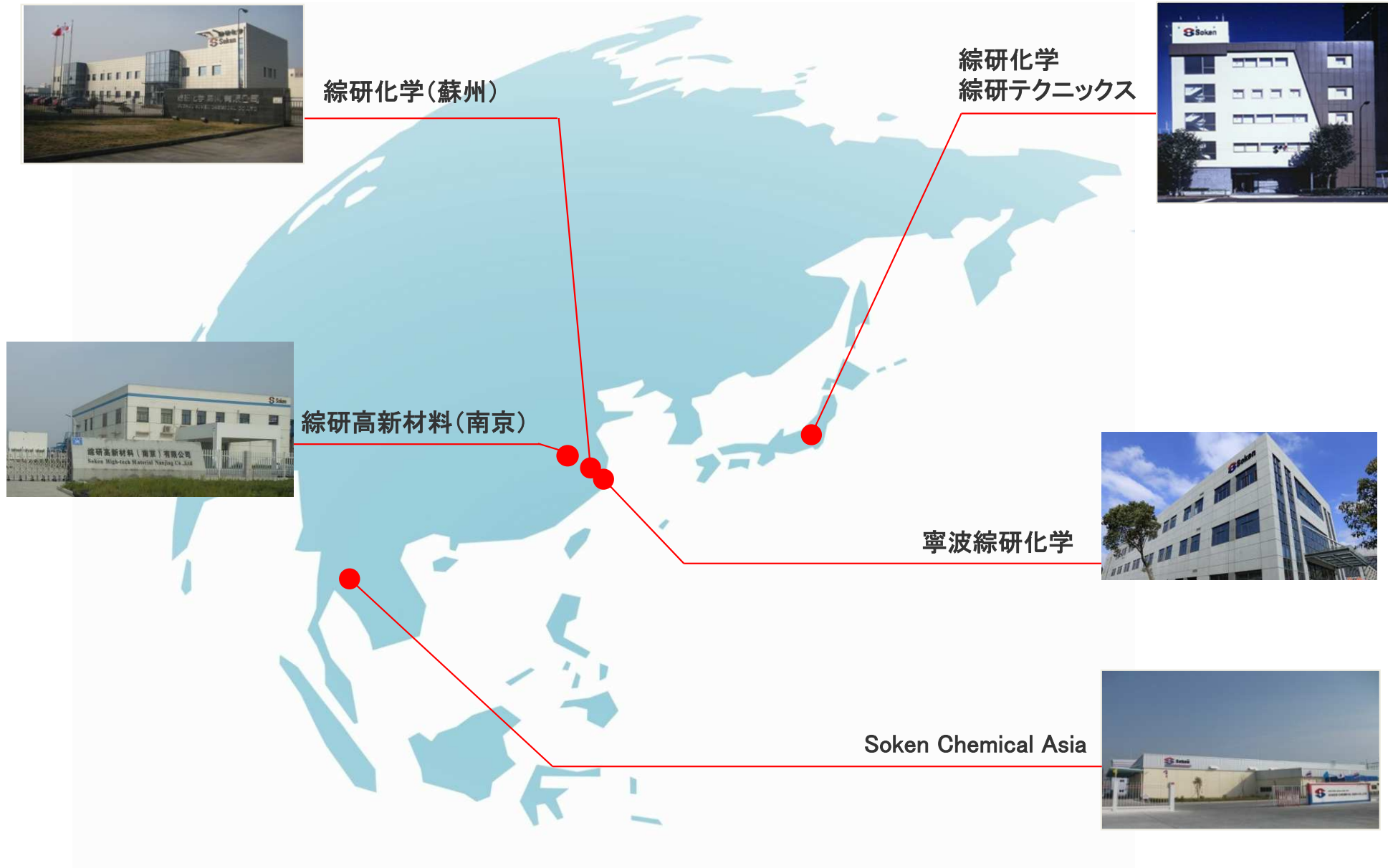
機能発現・品質評価を追求する
研究開発力

装置・システム技術を生かした
生産技術力



機能・品質・低コストの徹底追求

グループ会社の所在地



会社概要(グループ会社)

会社名 / 商品ユニット	出資比率	設立年	粘着剤	微粉体	特殊機能材	加工製品	装置システム
綜研化学	—	1948年	●	●	●	●	
綜研テクニクス	100	1997年					●
綜研化学(蘇州)	100	2002年	○	●	●		
寧波綜研化学	100	1994年	○			●	
綜研高新材料(南京)	100	2011年	●				
綜研化学アジア	100	2008年	●			●	

■ 連結子会社

● 販売製品・サービス ○ 自社使用等

ケミカルズ

■ 粘着剤

透明な合成樹脂溶液



用途:

LCD他光学フィルム用
両面テープ用
(家電・自動車等)
ラベル用
マーキングフィルム用

■ 微粉体

ナノからミクロンサイズの
合成樹脂粒子

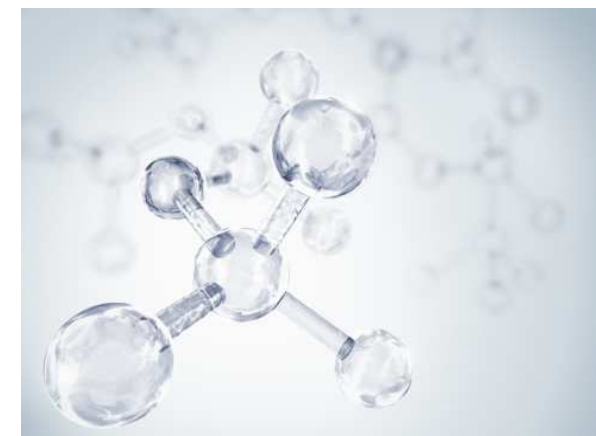


用途:

LCD光拡散用
化粧品用
トナー関連材料
フィルム用

■ 特殊機能材

様々な用途に応じた合成樹脂



用途:

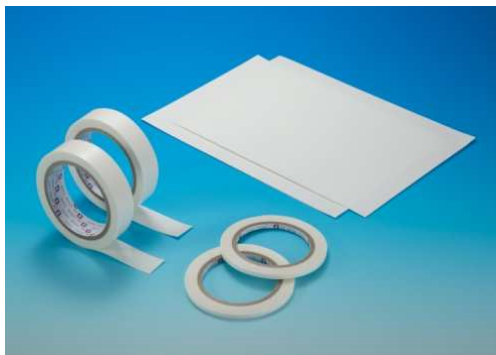
電子回路材料
インキ・塗料材料
トナー関連材料
導電性材料

ケミカルズ

■ 加工製品

粘着テープ

粘着剤を塗工した製品



用途:

スマートフォン等

(保護テープ)

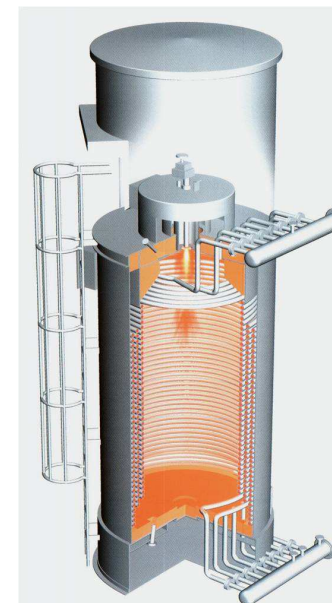
自動車等

(両面テープ)

家電・事務機等

(両面テープ)

装置システム



大型翼攪拌装置 (Hi-F)

熱媒ボイラー

熱媒体

メンテナンス

(注) 本資料中の予想は、決算発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。

＜お問い合わせ先＞

綜研化学株式会社 IR・広報室

TEL 03-3983-3268

E-mail ir-soken@sokenchem.com